

入院患者の不眠に対する薬剤選択についての推奨（ただし、専門医の判断を優先する）

【本推奨の利用にあたっての注意点】

入院患者の入眠困難は、疼痛や体動困難など身体要因、不安やストレスなど心的要因、光や音など環境要因、日常生活／入院生活での睡眠覚醒リズムの相違、使用薬剤など、さまざまな原因が多因子的に影響し生じる。入眠困難への対応の原則は、これらの原因のピックアップと直接的な介入であり、睡眠導入剤の使用で必ずしも原因が解決されるわけではない。本推奨は、原因への対応が困難であるか対応しえても、なお入眠困難が解消しない場合に参照されることが望ましい。

【一般成人・高齢者・転倒リスク患者】

薬品			不眠症状のタイプ		推奨用量		注意			
			入眠困難	睡眠維持困難	一般成人	高齢者 転倒リスク患者	腎機能障害	肝機能障害	CYP3A阻害剤併用時	その他
第1選択	オレキシン受容体拮抗薬	デエビゴ錠	○	○	5mg		重度：慎重投与	重度：禁忌 中等度：5mgまで	中程度～強力：2.5mg	
		クービビック錠	○ (作用持ち越しを防止したい場合)		50mg			重度：禁忌 中等度：25mg	強力：禁忌 中程度：25mg	
		ヘルソムラ錠		○ (作用持ち越しに注意)		15mg		重度：慎重投与	強力：禁忌 中程度：10mg考慮	
第2選択	非ベンゾジアゼピン系	エスゾピクロン錠	○	○	2mg	1mg	重度：1mg(2mgまで)	重度：1mg(2mgまで)	慎重投与	
その他	メラトニン受容体作動薬	ラメルテオン錠	○	○	8mg			重度：禁忌 軽～中等度：慎重投与	慎重投与	作用発現に2～4週間

【せん妄リスク患者】

薬品			不眠症状のタイプ		推奨用量	注意				
			入眠困難	睡眠維持困難		腎機能障害時	肝機能障害時	CYP3A阻害剤併用時	その他	
第1選択	オレキシン受容体拮抗薬	デエビゴ錠	○	○	5mg		重度：慎重投与	重度：禁忌 中等度：5mgまで	中程度～強力：2.5mg	
		ヘルソムラ錠		○ (作用持ち越しに注意)	15mg			重度：慎重投与	強力：禁忌 中程度：10mg考慮	
その他	メラトニン受容体作動薬	ラメルテオン錠	○	○	8mg			重度：禁忌 軽～中等度：慎重投与	慎重投与	作用発現に2～4週間

上記不応時 追加内服（起床6時間前まで）

薬品		推奨用量
オレキシン受容体拮抗薬	デエビゴ錠	2.5mg
非ベンゾジアゼピン系	エスゾピクロン錠	1mg